

平成 26 年度事業報告

【1】平成 26 年度一般経過報告

はじめに

公益社団法人関西吟詩文化協会は、創立以来 81 年目を迎え、公益社団法人の認定を受け、3 年目を迎えることになりました。吟詠人口の減少と愛好者の高齢化という大変厳しい環境の中、本部と地方と各会が問題意識と価値観を共有化し詩歌・吟詠を通じて、文化の発展に寄与し、継承するために、各会・支部・教場の活性化を目指し、「温故新生」（継承への更なるチャレンジ）をスローガンに活動してまいりましたが、会員減少への歯止めも掛からぬまま今年末を迎えることとなりました。

以下平成 26 年度の各事業をご報告申し上げます。

平成 26 年度の結果を受けて、各会・支部・教場の活性化は、指導者の養成・人材育成が最も重要という考えから来期より「東明未来塾」（指導者養成講座）を開設し、新指導者の養成に努めて参りたく存じております。皆様のご協力を御願いたします。

結 果

1. 本年度の目標「新入会者 1,600 人」に対し、新入会者数は、1,010 人となり、昨年の新入会者数 900 人より 110 人増加した。各会で新人獲得に努力頂いた結果であり敬意を表したい。
2. 会員数は、平成 27 年 3 月末現在 13,728 人となり、昨年末 14,307 名から 579 人の減少となった。減少率では、昨年の減少率 4.9%から 4.0%となり減少率はやや縮小されました。
正に、各会の努力の結果が少しづつ現れており各位の努力に感謝したい。
3. 吟詠発表会は、奈良で開催のチャリティー吟詠大会を始め、全国 8 カ所で開催し、2,050 人が参加し、関西吟詩文化協会の優秀吟者による吟詠を、会員始め不特定多数の人に感動を与えた。
4. 吟詠普及推進研修会は、7 地区で実施し、延べ 1,250 人が参加し、吟法・科学的な発声法など熱心に研修され、不特定多数の方々にも感動して頂いた。
5. 吟道大学講座は、パナソニックの研修センターという素晴らしい環境の下、1 泊 2 日で、外部専門講師等により、より専門的で深い内容の研修が行われ、受講生に感動を与えた。

6.本部研修会では、新吟題（和歌3題）・平成27年度昇格試験課題詩を各会代表者に研修を行った。

7.各部会・委員会が活発に活動された。

教養指導部会では、新教本の発行・吟道大学・研修会等の企画運営並びに「科学的発声法の研究」及び「吟詠指導マニュアル」案の作成などを行った。

総務部では、昇段昇格期間短縮に伴う昇段昇格基準の策定、財務部提案の会費改訂に伴う会員制度の改訂案の検討及び東明未来塾に関する計画書の作成等を行い、特別維持会員制度・賛助会員制度等の提案を行った。

財務部では、平成26年度中間決算に関する意見の具申、平成27年度予算案の作成、中長期財務基盤確立の為の提案として平成28年度会費改訂案を作成・固定費削減の為の事務処理コンピューターの全面改訂案の提案が行われた。

企画事業部では、チャリティー吟詠大会・全国幼少年大会企画運営を行うと共に本会創立以来始めて、J:COM有線放映に続いて、民法テレビ・ラジオ放送を実施した。又、「会員増員対策マニュアル」の作成および青年部の育成などを行った。

広報部では、機関誌「吟詩日本」春夏秋冬号 第165・166・167・168号を発行した。

青年部では、青年部大会を通じてお互いの交流と、大阪城公園などにおいて野外コンサートを行い吟詠の普及推進を行った。

ホームページ委員会では、アクセス数 40,000回/月に達した。

- ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介した。

- ・特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介した。

組織部会では、地区毎に幹部候補生の育成案、地区代議員会組織案、特別維持会員制度・賛助会員制度等の提案が行われた。

教本改訂委員会では、新教本の初級編（A1）の編集を完了した。

続いて、絶句編（A2）を行っている。

組織活性化委員会では、地区連絡協議会間の連携強化が行われた。

公益業務改善委員会では、内閣府による立ち入り検査に備え「定款等規約類」「総会・理事会等の会議議事録」及び「各事業実施後の書類整理とファイリングの整理」などの点検を通じて、事務局体制の補佐を行った。

新指導者養成講座運営委員会では、平成27年度よりスタートの「東明未来塾」開設に向けた、運営委員会の立ち上げ準備を行った。

地区別代議員会では、平成27・28年度代議員選挙後、新代議員と地区別理事候補の選出及び事業方針について懇談を行った。

平成 26 年度事業報告

【2】事業活動報告

自：平成 26 年 4 月 1 日～至：平成 27 年 3 月 31 日

1. 公益目的事業

関西吟詩文化協会は、「詩歌・吟詠を通じて、青少年の健全なる精神の陶冶に資し、わが国文化の発展に寄与し、継承する」ために次の事業を行った。

公益目的 1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

詩歌・吟詠の普及推進研修会、吟詠発表会を開催し、吟詠文化の振興発展の為の事業と其の目的達成の為の教本作成頒布並びに広報活動としての機関誌発行・ホームページなどの事業を行った。

(1) 吟詠普及推進事業吟詠大会（一般来聴公募）

和歌山地区大会の開催を追加して、関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図った。

- ・特別研修会兼推薦師範研修会・・・平成 26 年 6 月 15 日（日）
280 人参加（内一般会員他 150 人）
- ・九州地区大会・・・平成 26 年 6 月 29 日（日）
180 人参加（内一般会員他 100 人）
- ・岡山地区大会・・・平成 26 年 8 月 24 日（日）
160 人参加（内一般会員他 90 人）
- ・和歌山地区大会・・・平成 26 年 11 月 23 日（祝）
110 人参加（内一般会員他 60 人）
- ・浜松地区大会・平成 27 年 2 月 22 日（日）
180 人参加（内一般会員他 100 人）
- ・京滋福井地区大会・平成 27 年 3 月 1 日（日）
180 人参加（内一般会員他 100 人）
- ・四国地区大会・・・平成 27 年 3 月 8 日（日）
160 人参加（内一般会員他 90 人）

(2) 吟詠普及推進事業・記念大会

- ・吟詠普及推進事業チャリティー吟詠大会・奈良（一般来聴公募）
生駒市たけまるホールに会場を設定し、生駒市在住者への来聴公募に対し、80 名の市民の方が参加した。

平成 26 年 10 月 26 日（日）

約 800 人参加(内一般会員他 480 人)

- ・下記の公認会等の記念大会等への後援を行った。
兵庫県連合会 80 周年記念大会、大阪地区連合会 60 周年記念大会
浜松驚長会創立 50 周年記念大会、天理吟詠会創立 60 周年記念大会等

(3) 吟詠普及啓発活動を実施した。

① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣等を行った。

- ・小中学での課外授業への積極的参加
- ・公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
- ・幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供

- ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進。
- ③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。
 - ・公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞のDVD」の提供
- ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加。
- ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加。

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

前(3)項の各推進活動に対して、一定限度内で助成を行った。

(5) 全国幼少年青年部吟詠大会を開催した。(一般来聴公募)

平成 27 年 3 月 22 日 (日) 於：大東市市民会館
約 350 名参加 (内出吟者：幼少年 42 人・青年部 40 人)

(6) 電磁的公報、機関誌発行を行った。

① 吟詠普及の為のテレビ放映及びラジオ放送を実施した。

－ 1) J : COM (有線テレビ) テレビ放映 (全国ネット) を実施した。

① 5 月 6 日 (祝) 10 : 30～10 : 54 30 分

80 周年記念大会ダイジェスト版

至誠の人 「西郷南洲」

② 8 月 26 日 (火) 21 : 30～22 : 00 30 分

幕末シリーズ 「坂本龍馬」

③ 9 月 27 日 (土) 10 : 30～11 : 00 30 分

幕末シリーズ 「勝海舟」

－ 2) J : COM (有線テレビ) テレビ放映 (オンデマンド) を実施した。

日時 5 月 1 日～10 月末まで

80 周年記念大会の模様全編

一部 式典

二部 会員吟詠

三部 来賓・役員吟詠

四部 構成吟「至誠の人 西郷南洲」

－ 3) サンテレビ放映を実施した

日時 平成 26 年 12 月 15 日 (月) 16:00～16 : 30

幕末シリーズ 「そして白虎隊へ」

－ 4) ラジオ関西で放送した。

日時 平成 27 年 2 月 28 日 (土) 7 : 30～7 : 50

「お元気ですか、春名裕富子です」のトーク番組で、
会長山口華雋が出演し 12 分間吟詠について熱く語った。

② ホームページでの吟詠普及を行った。

アクセス数 40,000 回/月に達した

- ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介した。
- ・特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を

紹介した。

③ 機関誌「吟詩日本」を発行した。(一般販売)

- ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
- ・「吟詩日本」発行 (165号、166号、167号、168号)
- ・「吟詩日本」特別号発行 (正会員、準会員への無料配布)

(7) 教本発行 (一般販売)

① 教本冊子頒布

- ・教本絶句編 6冊(180題)
単行本 A61～A64 4冊(12題)
- ・教本律詩編 B1～B3 3冊(90題)
単行本 B31～B33 3冊(9題)
- ・教本古詩編 C1～C3 3冊(65題)
- ・教本和歌・俳句・新体詩 D1 1冊(30題)
単行本 D11 1冊(3題)
- ・教本副読本(アクセント入り)
4句詩編 1冊
6・8句詩編 1冊
長詩編 1冊
- ・教本縮刷本 A(絶句編) B(律詩編) C(古詩編)

② 新教本発行を行った。

- ・教本発行和歌編 D14～D15 2冊(6題)

③ 「たのしい吟詠」の配布・活用を行った。(無料提供用教材)

- ・学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本
(ドレミファの譜面付)

(8) 海外移動教室を開講した。

- ・中国西安 漢詩紀行(漢詩の世界探訪)

・平成26年10月15日～18日 参加者 20名

今回の移動教室で「西安交通大学」と日中詩吟交流会を行った。

又、平成27年1月に北京師範大学の学生13名が総本部に来訪され、
役員並びに教養指導部員他と「日中詩吟交流会」を行った。

(9) 災害復興支援活動の実施

- ・災害復興義援金の募集活動実施 (各事業毎に呼びかけた)。

義援金は日本赤十字社を通じて寄付を行った。

公益目的2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

関西吟詩文化協会は、詩歌・吟詠の技能向上を図り、より優れた吟詠を広く不特定多数の方々に普及する為に、吟詠発声法の学理研究及び指導法・作詩法の研究を行い指導者を養成するとともに、競吟を通じて技能の向上を図った。

(1) 競吟大会の開催を開催した。(一般来聴歓迎)

① 全国新人中間層競吟大会 平成26年11月9日(日)

於 エーリック(尼崎)

参加者 600人 (内出吟者 261人)

〈予選大会〉大阪・九州・中国・四国・東海・京都・滋賀・奈良・
兵庫・岡山で開催し延出吟者約2,000人(内正会員なし)

② 全国準師範師範代指導者級吟士権大会

平成 26 年 12 月 14 日(日)

於 現代劇場(高槻)

参加者 600 人 (内出吟者 235 人)

〈予選大会〉大阪・九州・中国・四国・東海・京都・滋賀・奈良・
兵庫・岡山で開催し延出吟者約 1,500 人

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会を実施した。

- ・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与した。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験を実施し合格者に指導者としての資格を授与した。

① 昇段試験は内部規定に基づき、一次審査は各公認団体毎に実施し、二次審査は総本部において実施し、会長が認定した。

平成 26 年 7 月 1 日 昇段免許授与

平成 27 年 1 月 1 日 昇段免許授与

② 地方昇格試験および研修会を実施した。(師範・準師範・師範代)

福岡試験場 6 月 29 日

広島試験場 6 月 29 日

名古屋試験場 6 月 29 日

③ 昇格試験及び研修会実施した。(総本部試験場)

師 範 7 月 6 日

準師範 7 月 20 日

師範代 7 月 27 日

(昇格試験に合格したのものには、9 月 1 日付で 9 月 14 日の東明祭において免許状を授与した。)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

① 吟詠普及推進研修会

- ・近畿地区大会・・・平成 26 年 6 月 15 日(日) 於 エーリック
特別研修会兼推薦師範研修会 280 人参加 (内一般会員他 150 人)
- ・九州地区大会・・・平成 26 年 6 月 29 日(日)
180 人参加 (内一般会員他 100 人)
- ・岡山地区大会・・・平成 26 年 8 月 24 日(日)
160 人参加 (内一般会員他 90 人)
- ・和歌山地区大会・・・平成 26 年 11 月 23 日(祝)
110 人参加 (内一般会員他 60 人)
- ・浜松地区大会・平成 27 年 2 月 22 日(日)
180 人参加 (内一般会員他 100 人)
- ・京滋福井地区大会・平成 27 年 3 月 1 日(日)
180 人参加 (内一般会員他 100 人)
- ・四国地区大会・・・平成 27 年 3 月 8 日(日)
160 人参加 (内一般会員他 90 人)

② 指導者研修会

- ・平成 27 年度師範昇格試験課題詩講習会 於 エーリック(尼崎)
平成 26 年 9 月 7 日(日)
吟詠 6 題 和歌 3 題 270 人参加 (内一般会員 30 人)
- ・平成 27 年度準師範師範代昇格試験課題詩講習会
平成 26 年 12 月 7 日(日) 於:エーリック(尼崎)
律詩 8 題 絶句 10 題 310 人参加 (内一般会員 30 人)
- ・新教本講習会
平成 26 年 5 月 25 日(日) 於:エーリック(尼崎)
和歌 3 題 310 人参加 (内一般会員 30 人)
平成 26 年 9 月 14 日(日) 於:エーリック(尼崎)
和歌 3 題 340 人参加 (内一般会員 35 人)

③ 吟道大学講座の開講

- ・平成 27 年 2 月 7 日～8 日 於:パナリゾート大阪
- ・漢詩、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と
活性化等の研修 参加者 135 人(内一般会員 20 人)

④ 作詩講座 (一般公募)

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図る。

- ・毎月第 2 金曜日 午後 6 時～8 時 00 分迄
- ・年 12 回 (前期、後期に分けて)
- ・於 総本部会議室 参加者 延 600 人(内一般会員 60 人)

⑤ 作詩添削

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上をはかる。

- ・ 4 回/年 参加者 延 400 人 (内一般会員 40 人)

⑥ 漢詩鑑賞講座 (一般公募)

漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも漢詩を広めようとするもの。

- ・毎月 1 回 午後 1 時～4 時 00 分迄
- ・年 12 回
- ・於 総本部会議室 参加者 延 400 人(内一般会員 40 人)

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行し、各種研修会の内容の充実を図るとともに、吟詠芸術を探究するなどの研究を行う。

教養指導部全体 15 回/年

- ・教養指導部指導科会
- ・教養指導部教養科会
- ・秀詠グループ吟詠研究会

(5) 部会・委員会

広く不特定多数の人に、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための公報活動を行う

- ・広報部 15回/年
- ・ホームページ委員会 9回/年

吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案を提言する。

- ・企画事業部 9回/年
- ・青年部 14回/年

(6) 委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置、活動を行った。

- ・教本改訂委員会 7回/年
- ・作詩添削委員会 6回/年

2. 収益事業

収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD等の頒布を行った。

(1) 参考図書販売

- ①誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
- ②作詩便覧 宮崎東明編
- ③作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
中国編 関西吟詩文化協会発行

(2) CDの頒布

- ①俳句新体詩伴奏曲編
- ②和漢名詩選(1) (既存)
- ③和漢名詩選(2)・・・(既存)
- ④和漢名詩選(3)・・・(既存)
- ⑤本部指導者研修会収録編

(3) カセットテープの発売

- ①音階及び譜名表編
- ②国歌・関西吟詩会歌用伴奏編

(4) DVDの頒布

- ①「坂本龍馬」
- ②「勝海舟」等

収益2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)

を交付する事業

- ・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与した。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験を実施し合格者に指導者としての資格を授与した。

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

① 昇段免状授与

所定の昇段試験に合格した者に対し免状を授与した。

平成26年7月1日

平成27年1月1日

② 昇格資格者への免状の授与 (師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与した。

平成26年9月1日

③特別昇格（上師範・高師範・総師範・宗範）

所定の昇格資格に従って特別昇格の免状を授与した。

平成26年9月2日

(2) 記章の販売

「宗帥・宗範・総師範・高師範・上師範・師範・準師範・
師範代・会員」バッチの販売

3. 相互扶助事業

その他1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業・新年互礼会事業

相互扶助等事業として、次の事業を行った。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| (1) 東明祭の開催 | 平成26年9月14日(日) |
| (2) 会員増員表彰(個人、支部、会) | 於 東明祭 平成26年9月14日(日) |
| (3) 敬老祝、成人祝 | 於 東明祭 平成26年9月14日(日) |
| (4) 功労者等顕彰の実施 | 於 東明祭 平成26年9月14日(日) |
| 表 彰 吟功章 | (上師範、高師範、総師範、宗範) |
| 特別昇格 | (上師範、高師範、総師範、宗範) |
| 特別功労章 | (宗 帥) |
| (5) 新年互礼会 | 平成27年1月11日(日) |

4. その他の事業

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業を行った。

- (1) 定時総会の開催
平成26年5月31日(土) 於: エーリック(尼崎市)
- (2) 代議員選挙
告 示 平成27年1月15日(木)
立候補受付 平成27年2月
選 挙 平成27年3月
- (3) 各種会議
 - ① 総会
 - ② 役員会(正副会長会、理事会、)
 - ③ 元老・相談役・参与会議
 - ④ 部 会 (総務部・財務部)
 - ⑤ 懇談会
都府県連合会代表者会議
都府県連合会連絡協議会
地区代議員会
 - ⑥ 教本改定委員会
 - ⑦ 組織活性化委員会
 - ⑧ 公益業務改善委員会
 - ⑨ 新指導者養成講座運営委員会
 - ⑧ 其の他特定検討委員会